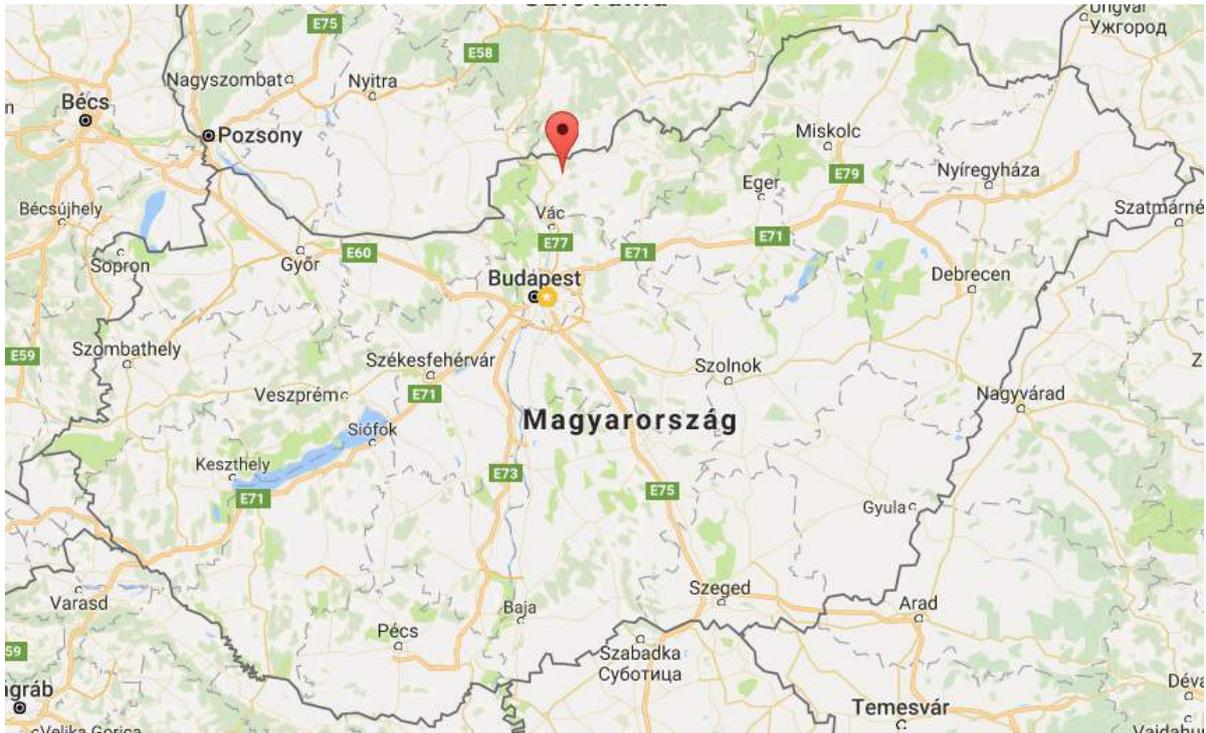


Érsekvadkert (エールシェクヴァドケルト)



Érsekvadkert はノーグラード県の中で、市を除くと一番大きな集落である。この町はハンガリー北東部、**Börzsöny** の麓に広がっている。

ブダペストから 61 km で北西の方面にある。ブダペストからだと車や長距離バスで行くことができる。バスで行く場合 **Újpest városkapu** のバスの駅から **Szécsény/Balassagyarmat/Érsekvadkert** 行きの 1010 便に乗ると 1 時間ぐらいで着く。車で行く場合は高速 2 号線で 1 時間 30 分ぐらいで行くことができる。

基本データ

市域 55,37 km²

人口 3461 fő (2015 年 1 月 1 日)

人口密度 62,63 人/km²

郵便番号 2659

市章 聖アーダルベルト (Szt.Adalbert)

Érsekvadkert の歴史

この町はノーグラード県で最古の町の一つである。ハンガリー人がこの地に来る前から存在していた。中世にはエステルゴムの大司教の所有

物だった。1710年に、オスマントルコ軍がここでラーコチの軍と戦った。1848-49年の独立戦争ではGörgeyの軍がここに駐留していた。20世紀には蒸気製粉所ができ、製粉産業が発展した。第一次世界大戦と第二次世界大戦の時には、町の外れに空港も作られた。大戦で死亡した兵士のために都心に記念碑が立てられた。戦争の時にこの町を離れた人も多かった。現在、ほとんどの人々は農業で暮らしている。ノーグラード県で最大の農協がここにある。

Érsekvadkert の有名人

Laky János 神学者、カトリックの司祭、Érsekvadkertの副助祭長。
(1798年 - 1848年)

Hetényi Rezső 政治家、「村の日」をつくった。(1899年 - 1970年)

Boda János 医者、地理学者。南極圏に行った最初のハンガリー人。
南極大陸にはボダ山と名付けられた山がある。(1924年 - 1988年)



Balla Máté ハンガリーの有名なバンド Ivan & The Parazol のギタリスト。(1991年 -)

Érsekvadkert の料理



一番有名な食事は nagyönc という物である。これは中に脂身やオニオンが入っているじゃが芋団子である。

Érsekvadkert の名所



聖アンドラーシュ教会



郷土記念館



苦難の連続の教会堂



給水塔



ユダヤ墓場



自然保護地域

Érsekvadkert の宿

Szt. Borbála ゲストハウス



住所: Érsekvadkert, Rákóczi út 150 電話番号: (20) 495 5049

Szt. Borbala Vendeghaz ゲストハウスは、Érsekvadkert 市の中心地から 1km の所にある。部屋には暖房、パティオ、ダイニングエリア、ワークデスクとプライベートトイレが完備されている。家族向けバスルームにある無料アメニティとタオルも、自由にご利用になれる。テラスがあり、wifi も利用できる。また無料駐車場もある。レストランなどはないが、電気ポット、冷蔵庫、ストーブとオーブンがある。

Gyöngyvirág cukrászda (レストランとショップ)

この店ではいろいろなことを買うことができる。お菓子やコーヒーや家庭用品を売っている店です。奥にスカッシュコートもある。

住所: Érsekvadkert, Rákóczi út 140, 2659

電話番号: (30) 951 3968

町の歩き方

バスを下車すると英雄広場にある聖アンドラーシュ教会（Szent András templom）が見える。教会の向かいに Coop ショップがあり買い物ができる。中心で飲み屋が2つ(Bokréta, Talpi kocsmá)あるのでパーリンカやフルッチが飲める。ここから給水塔（Régi víztorony）までは12分である。近くにサッカー場がある。そこから10分を歩いたら Dobordali-tó がある。そこで魚釣りもできる。